

## 「解答例」

選抜区分

平成31年度 (選抜区分：推薦入試)

法 学部 (科目名：小論文)

### 問題1 (標準的な解答例)

近代立憲主義とは、近代国家の権力を制約する思想あるいは仕組みである。この考え方は、単に政治権力あるいは国家権力を制限するという広義の立憲主義とは区別される。近代立憲主義は、私的・社会的領域と公的・政治的領域との区別を前提に、個人の自由と公共的な政治の審議と決定とを両立させようとする。その目的は、価値観・世界観の多元性を前提とし、さまざまな価値観・世界観を抱く人々の公平な共存をはかることにある。近代ヨーロッパでこのような考え方が成立した背景には、宗教戦争や大航海を通じて、この世には比較不能な多様な価値観が存在すること、それにもかかわらず公平に社会生活の便宜とコストを分かち合う社会の枠組みを構築しなければならないこと、これらが人々の共通の認識になっていたことがあったとされている。また、近代立憲主義に基づく憲法のことを立憲的意味の憲法といい、人権の保障と権力の分立がその必須の要素とされている。

### 問題2 (出題の意図)

別紙